

新収蔵品展 New Acquisitions

北海道立近代美術館は2009（平成21）年度、新たに20点を収蔵しました。

油彩の分野では、横浜に生まれ国際的に活躍した岡田謙三、全道美術協会（全道展）の創立に参画する一方、国内外の風景を描きつづけた松島正幸、札幌に在住し版画家として独自の技法を展開する渡会純价、道内画壇において現代的な絵画表現を追求しつづける杉山留美子、4作家による9点を収蔵しました。

版画では、1925（大正14）年創刊の雑誌『さとぼろ』に掲載された菅野利助と服部光平による5点と、北海道版画協会による50周年記念版画集を収蔵しました。

彫刻では、新制作協会や全道展で活躍した本田明二、東京と北海道の美術界双方と関わりをもった新田実、そして80年代以降金属や廃材を用い造形活動を展開してきた榎原武正、3作家による4点を収蔵しました。

また今回、当館では初めてとなる写真の分野の作品として、戦後リアリズム写真運動を推進した木村伊兵衛による肖像写真1点を収蔵しました。

この結果、当館の収蔵作品は油彩735点、日本画253点、水彩・素描268点、版画1,721点、彫刻99点、工芸1,259点、写真1点、計4,336点となりました。

本展では、こうした新収蔵品から、17点をご紹介します。

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	松島正幸	新緑の札幌	1981（昭和56）	油彩・キャンバス
2	岡田謙三	野外習作	1935（昭和10）	油彩・キャンバス
3	新田 実	裸婦	不詳	ブロンズ
4	本田明二	えもの	1988（昭和63）	木
5	本田明二	少女の面	不詳	ブロンズ
6	木村伊兵衛	江賀寅三	1965（昭和40）	ゼラチンシルバープリント
7	服部光平	静物	1925（大正14）	木版・紙
8	服部光平	早春風景	1928（昭和3）	木版・紙
9	服部光平	習作（エッチング）	1929（昭和4）	エッチング・紙
10	服部光平	古河講堂	不詳	木版・紙
11	菅野利助	停車場通りの冬	1928（昭和3）	木版・紙
12	北海道版画協会刊	北海道版画協会50周年記念版画集	2008（平成20）	銅版・紙ほか(版画集より一部展示)
13	杉山留美子	WORK 9704-1	1997（平成9）	アクリリック・綿キャンバス
14	杉山留美子	WORK 9704-2	1997（平成9）	アクリリック・綿キャンバス
15	杉山留美子	WORK 9704-3	1997（平成9）	アクリリック・綿キャンバス
16	渡会純价	La Vie en Rose	2005（平成17）	ミクストメディア
17	榎原武正	大地／開墾 2009-1	2008（平成20）	ミクストメディア